

平成30年度 くまもと・わくわく基金 
冠基金 東京エレクトロン九州・マッチングギフト



事業報告

団体名： **NPO法人 身近な犯罪被害者を支援する会**

助成事業名： 犯罪被害者等への理解と被害に遭われた方への相談窓口の周知対策

(1)実施内容

- 1, 被害者遺族の想い、についての講話
(15年前(大学2年)お嬢さん殺害され高野山に遺棄され、刑期を終え出所してくる、不安な想い等について事件から今日までの想いについて。
- 2, 被害者等への支援制度と支援の具体的な内容について報告、支援への協力をお願い
- 3, 会場: 西部公民館・富合公民館・植木公民館
3会場で実施

講演会スナップ



(2)助成金の活用

- 1, 市民講座案内チラシの作成
- 2, 関係団体訪問: ボランティア採用講座案内とチラシの配布活動(保護司・民生児童委員・防犯協会・自治会等一般市民)
- 3, 会場周辺ポスター掲示



(3)成果、市民の声(参加者やサポートを受けた方)

- 1, 被害者等が事件後、どのような状況におかれ、苦しみに耐へ加害者が出所してくる不安等、被害者に対する理解めることができた。(15年刑)
- 2, 全く知らない話を、聞いてよかった、ほとんどの人が被害者の状況について知らない、友人知人に話しをしていきたいと思う。
- 3, 支援活動の必要性について及び取組の内容について理解できた、協力していきたい。
- 4, 保護司の方加害者の支援をしているが被害者については全然聞いたことはなかった。今後の活動に生かしていきたい。

(4)今後の事業展開

- 1, 今後もシンポジウム等を開催して犯罪被害者等への関心と理解を深め、犯罪が起こりにくい環境、まちづくりに取り組んで行きたいと思います。被害者等を理解することで犯罪の抑止力につなげたい。
- 2, 被害者等それぞれの想いが一人ひとり被害の内容によって異なるために性被害、少年の被害、殺人被害、傷害事件、いじめ、DV問題等についてシンポジウムを開催していきたいと思います。
- 3, パネルディスカッションの開催。

パネルディスカッションのテーマ

なぜ犯罪現象が
全国的に拡散しているのか！

地域環境

家庭環境

身の周りの社会現象をどうとらえ、要因はどこにあるのか？

教育環境

- この度は、助成金支援を賜りありがとうございました。
ございました。今後とも宜しくお願いいたします。
- ご清聴ありがとうございました。



NPO法人

身近な犯罪被害者を支援する会